

太田あきひろは北区・足立区の安全・安心に全力!

竹ノ塚駅周辺の高架化が今秋着工へ

**事故翌日に国会質問
粘り強い働きかけが結実**

足立区・竹ノ塚駅周辺の鉄道高架化工事が、この秋、着工の運びとなりました。

竹ノ塚駅付近の踏切は、ピーク時で1時間のうち58分が遮断されたままという開かずの踏切。2005年、歩行者4人が列車にはねられ死傷する事故が発生しています。

太田あきひろは事故翌日、すぐさま国会質問で再発防止を要請。以来、地元の方々と共に、国交大臣への申し入れなどを粘り強く重ねてきました。

太田あきひろの取り組み

2005年	3月15日	歩行者4人が死傷する事故が発生
	3月16日	衆院内閣委員会で質問し再発防止を要請。夕方には事故の同時刻に現地を訪れ調査
	6月7日	駅周辺の高架化へ国の積極関与を強く要請。国交省が検討会に参加へ
2006年	12月20日	鈴木恒年足立区長(当時)と共に北側一雄国交相(同)へ早期実現の要望書を手渡す。国交相も早期実現を約束
	3月1日	衆院予算委員会で早期実現を要望
2007年	4月	連立事業の調査が採択。高架化が実現の運びへ
	2月5日	竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会の鈴木会長(足立区長)らと共に冬柴鉄三国交相(当時)へ早期実現の要望書を手渡す
2008年	2月18日	同協議会の近藤やよい会長(足立区長)や鴨下一郎環境相(当時)らと共に冬柴国交相へ早期実現の要望
	11月20日	同会長と共に金子一義国交相(当時)へ早期実現に向けての財政や技術面での支援などを要望



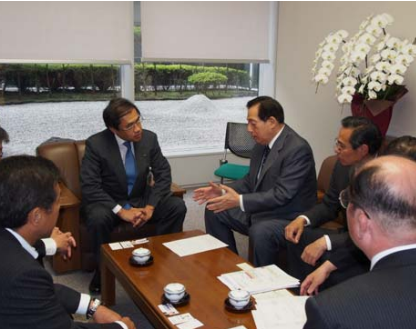
竹ノ塚駅周辺の高架化事業について、国・区の担当者と意見交換(5月22日)

**北赤羽駅・板橋駅の早期
バリアフリー化を要望**

から国交省などに、たびたび改修を求めてまいりました。工事は今年度中に着手・完了します。

太田あきひろは5月17日、JR東日本本社を訪れ、JR埼京線北赤羽駅について、「赤羽口へのエレベーター設置」「安全を確保するホームドアの設置」「自転車駐輪場の増設」などを要請しました(写真)。

また、JR板橋駅については、計画が進んでいるエレベーターやエスカレーターを設置などバリア



フリー化について、一日も早い実現を強く求めると共に、「ホームドアの設置」や「駐輪場の整備」を要請しました。

JR東日本の深澤祐二常務などからは「区側なども協議し、しっかりと取り組みます」との回答を得ました。

**老朽家屋対策で足立区
の取り組みを視察**

近年、全国的に空き家が増え続けています。景観上の問題、犯罪や放火の要因になるなど、地域への影響は深刻です。しかし、あくまで所有者の管理責任で、有効な一手を打ちづらいのが現状です。

古くからの住宅密集地を抱える足立区では昨年、公明党が推進し、都内で初めて老朽家屋等の適正管理に関する条例を可決。該当する空き家に対して第三者機関の意見を求めた上で、区が所有者に解体などの勧告を行い、所有者が解体に応じる場合、木造で上

限50万円、非木造で同100万円を助成します。

太田あきひろは5月25日、条例をめぐる現状を確認するため該当の老朽家屋を視察。区の担当者との意見交換しました(写真)。

いっそう高齢化が進めば、空き家対策は重大な社会問題です。足立区の取り組みを一つのヒントとして、国や地方自治体でもその知恵を生かせるよう働きかけてまいります。



**実践的な避難訓練の実施を
北区議団と共に花川北区長
へ要望**

東日本大震災以降、防災訓練のあり方も見直しが迫られています。

例えば大地震が発生した際、避難所となる小中学校の校門を、誰

**志茂橋の耐震補強が
実現へ**

荒川下流の河川敷に隣接する、新河岸川にかかる北区・志茂橋について、このほど耐震補強・改修が実施されることとなりました。

荒川河川敷は大震災時、志茂橋周辺の北区志茂や岩淵町に居住する住民の避難場所に指定されています。ところが志茂橋は、工事用の仮橋で耐震性が不十分。荒川河川敷への進入路として唯一、大規模地震における耐震性能が不足していました。



荒川下流河川事務所の波多野真樹事務所長等から工事の説明を受ける(4月20日)

が、どう解錠するののかも、通例の防災訓練では分かりません。

そこで太田あきひろと公明党北区議団は5月25日、花川與惣太北区長に対し、より実践に即した防災訓練の本年度実施を要望(写真)。避難所の開設・運営や、災害時要援護者などの安全確認、防災無線の実践的活用を防災訓練で行うことなどを求めました。

花川区長からは、実現に向け積極的に取り組んでいくとの回答がありました。

